

# 21世紀の医療イノベーション

～ナノバイオテクノロジーが切り拓く最先端医療への挑戦～

## 開催日時

2011年1月17日(月) 14:30～18:25

2011年1月18日(火) 10:00～17:40

参加費  
無料

## 場所

学術総合センタービル2F 一橋記念講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

参加登録 <http://www.first-symposium.jp/> (ホームページからご登録ください)

## 開催内容



岡野光夫



片岡一則

ナノバイオテクノロジーの世界的なフロントランナーである2プロジェクト: 岡野光夫プロジェクト、片岡一則プロジェクトの研究者が一堂に会し、最新の研究の進捗を共有し、いかに最先端研究を迅速に最先端医療システムに結び付けるかを国内外の専門家を交えて議論しさらなる研究の加速を図ります。

## スケジュール

### 1月17日(月) 〈同時通訳あり〉

来賓挨拶 Stefan Noreén スウェーデン大使  
来賓挨拶 高久史磨 日本医学会 会長  
基調講演① 相澤益男 総合科学技術会議 議員  
基調講演② 北澤宏一 科学技術振興機構 理事長

#### プロジェクト構想紹介

#### 岡野光夫

『再生医療産業化に向けたシステムインテグレーション～臓器ファクトリーの創生～』  
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所所長・教授

**Cell Sheet Technology**  
<http://twins.twmu.ac.jp/first/>

#### プロジェクト構想紹介

#### 片岡一則

『ナノバイオテクノロジーが先導する診断・治療イノベーション』  
東京大学大学院工学系研究科/医学系研究科 教授

**NanoBio**  
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/nanobio/>

基調講演③ David Williams, Professor of Biomaterials and Director of International Affairs,  
Wake Forest Institute of Regenerative Medicine, USA



David Williams

パネルディスカッション 「いかに研究成果の社会還元を促進するか」  
〈パネリスト〉

泉紳一郎 内閣府 政策統括官(予定)  
今井浩三 東京大学医科学研究所附属病院 病院長  
春山英幸 日本製薬工業協会 研究開発委員会 委員長  
吉田安幸 旭化成クラレメディカル株式会社 代表取締役社長(日本医療器材工業会 副会長)  
江上美芽 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 客員教授  
木村廣道 東京大学大学院薬学系研究科 特任教授

意見交換会(会費: 5000円)

### 御来賓



スウェーデン大使  
Stefan Noreén



日本医学会会長  
高久史磨

### 基調講演



総合科学技術会議 議員  
相澤益男



科学技術振興機構理事長  
北澤宏一

### 1月18日(火)

基調講演④ Marc Peschanski, Director, The Institute for Stem Cell Therapy and Exploration  
of Monogenic Diseases, France

基調講演⑤ Hilary Calvert, Director of Anticancer Drug Discovery and Development,  
University College London Partners, UK

ポスターセッション

#### 共同研究者発表

大和雅之 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授  
「細胞シート工学の臨床応用の現状と展開」  
紀ノ岡正博 大阪大学大学院工学研究科 教授  
「安心・安全・安価な培養組織生産を目指した組織ファクトリーの構築」  
清水達也 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 准教授  
「臓器ファクトリーに向けた基盤技術の確立」  
松村保広 国立がん研究センター東病院 部長  
「がん治療における DDS のパラダイムシフト」  
西山伸宏 東京大学大学院医学系研究科 准教授  
「悪性腫瘍のイメージングと治療のための光応答性ナノデバイスの創製」  
宮原裕二 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授  
「生体分子認識検出用マイクロバイオチップの創製」



Marc Peschanski



Hilary Calvert